

(非公式和訳)

プレスリリース

コロンビア外務省は、コロンビア国民の大統領であるグスタボ・ペトロ・ウルレゴ氏に対する不快で失礼な発言、および何の根拠もなくコロンビア大統領を非難する形で、ホワイトハウスから発せられたドナルド・トランプ米大統領による国家主権への直接的な脅威を拒否します。

これらの非難は、極めて重大な行為であり、わが国で麻薬密売との闘いを絶え間なく主導し、推進してきましたコロンビア国民の大統領の尊厳に反するものです。彼の政権下において、近年の歴史上、かつてないほどの違法薬物の押収を達成したほか、地域全体で麻薬の災禍を包括的に根絶するための闘いを推進しています。

言及された通信には、地域および世界における麻薬との闘いにおいて、歴史的に貴重な同盟国であったコロンビアの領土への不法な介入を示唆し、国家主権に対する直接的な脅威が含まれています。これらの提言は、国際法と外交の全ての規範、特に国家の主権、独立、および自決権を保護する国際条約に違反するものです。

コロンビア政府として、私たちはこれらの声明を断固として拒否し、民主的な機関への敬意と麻薬密売に対する正面からの闘いを常に特徴としてきたわが国大統領の尊厳、そして国家としての主権を守るため、あらゆる国際機関に訴えます。

同様に、私たちは、国際協力をコロンビアの内政干渉の手段として利用することを拒否します。国際協力がなければ、麻薬の生産と商業化に従事する多国籍組織が勝利し、地域全体が損失を被ることになります。

コロンビア、ボゴタ D.C. 2025 年 10 月 19 日